

	科目名	単位数	内容
1	地域生物生産実習	1	地域の研究機関や民間企業の研究部門を中心にして訪問し、県の行政におけるそれぞれの研究機関の役割や、企業における研究組織の内容および生産施設の実態等について学修する。
2	一般微生物学	2	微生物発酵食品および医薬品の開発業務に携わった教員が商品化の基礎知識を講義する。
3	環境生物学	2	化学会社で農薬開発の実務経験を有する教員が、農薬の生物生産上の必要性と生物多様性への影響を解説し、農薬のリスク/ベネフィット評価について指導する。
4	動物生理学	2	製薬企業において、モデル動物を用いた医薬品の生理・薬理的評価経験のある教員が、動物の生理について講義を行う。
5	応用生物学実験	1	医薬、食品関連企業での実務経験を持つ教員が、微生物、動物、植物に関する実習を行い、幅広く生物学の基礎的な実験手法や統計解析などの実務技術を学ぶ。
6	微生物学実験	1	医薬品開発業務に携わった教員が創薬と医薬品開発の基礎知識を講義する。
7	技術者倫理	1	製薬企業の勤務経験のある教員が、企業におけるコンプライアンス、研究者倫理、知的財産権などについて、実務経験を踏まえて解説する。
8	育種学Ⅰ	2	民間企業で植物育種の実務経験のある教員が、経験に基づいて植物育種の基礎を解説する。
9	生態学Ⅰ	2	環境影響評価の最前線で活躍する技術士を特別講師として招聘し、環境コンサルタントについての実践的な考え方と技術を習得する。
10	地圏環境学	2	三重県の環境保全についての助言を行っている県立博物館の館長による、地球環境保全に必要な基礎知識についての概説を含む。
11	インターンシップ	1	福井県経営者協会に所属する民間企業で実習する。
12	技術者と企業	1	企業等で活躍する技術者あるいは研究者の理念や仕事の実際について学ぶ。
13	農作物利用学	2	企業において機能性食品の研究開発を担当した教員が、実務経験も踏まえながら、農産物の利用について講義を行う。
14	応用微生物学Ⅰ	2	発酵食品メーカーでの勤務経験を有する教員が、微生物発酵によるものづくりに関して、伝統的発酵法から現代の技術開発と工業利用について講義する。
15	応用微生物学Ⅱ	2	医薬品開発業務に携わった教員が創薬と医薬品開発の基礎知識を講義する。
16	生体高分子化学	2	民間企業の食品研究所で研究開発に携わった教員が生体高分子について食品素材としての基本的性質について講義する。加工食品開発に携わってきたゲストスピーカーが、健康食品開発の重要性を講説する。
17	生物物理化学Ⅱ	2	担当教員は、化学メーカーにて、分析業務を行っていた。その経験を活かして、分析装置の基礎的な原理と実際の利用に関する講義を行う。
18	植物育種学	2	民間企業で植物育種の実務経験のある教員が、経験に基づいて植物育種の基礎を解説する。
19	植物病理学	2	民間の研究所において、植物病理の研究に携わっていた教員が、植物病理の基礎について講義する。
	生物専門科目 計	32	